

生活クラブ虹の街は、(認定 NPO 法人) ちばこどもおうえんだんの「こども・若者未来基金」の趣旨に賛同し寄付を募集します！



大学進学への壁

親の病気や虐待などで、児童養護施設や里親家庭等で暮らす社会的養護が必要な子どもたちは、全国で 42,000 人ほど。これまでは原則 18 歳での自立が求められていましたが、2022 年 6 月の児童福祉法の改正で、年齢制限等は撤廃されました。しかし、進学や就職で退所した後の孤立化を防ぐ継続した支援が必要なことに変わりはありません。

親や親族の金銭的支援が受けにくいと、施設で育った子どもたちが大学等に進学する割合は 25% 程度（一般的には約 75%）です。国や民間の奨学金が徐々に充実していますが、入学金・授業料や日々の生活費の一部を賄えたとしても充分ではなく、アルバイトに頼らざるを得ません。勉強とアルバイトの両立が難しく、せっかく進学しても、途中で辞めてしまう子どもたちも少なくありません。

*県内 3 つの生協(生活協同組合パルシステム千葉・なのはな生活協同組合・生活クラブ生活協同組合)が、同時期に寄付募集を行っています。

「こども・若者未来基金」への寄付のお願い

2017 年度より県内 3 生協*が連携して、ちばこどもおうえんだん「こども・若者未来基金」の寄付募集を開始しました。2025 年度の寄付総額は、1,000 万円の目標に対し、9,200,000 円の寄付が集まり*、23 人(29 件)に 732.1 万円、「緊急サポート SOS」に 6 人 580,000 円、「寄

り添い型支援」は 6 団体に計 141 万円の給付を実施することができました。寄付をしてくださった皆さま、心より感謝します。今年度も、一人でも多くの子どもたちを応援できるよう、皆さまのご協力をお願いします。

*虹の街は 2,370,307 円、寄付者数 1,275 人

問い合わせ 認定 NPO 法人ちばこどもおうえんだん 事務局まで (月～金 10:00～16:00)
〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1107-7 tel / fax : 043-205-4046
mail : chiba.kodomo_ohendan@fuga.ocn.ne.jp
*寄付控除(要確定申告)をご希望の方は、直接寄付していただく方法をご案内します。
*不在の場合は留守番電話に言付けてください。折り返しご連絡します。

「こども・若者未来基金」のしくみ



*金銭面での支援以外にもさまざまな形態で支援をしています。

お金でおうえん

通常メニュー	くらしスタート	1 人暮らしを始めるにあたり必要な資金の援助(住宅資金や家財購入など)
	くらしサポート	進学した子どもの月々の生活費の援助
	資格サポート	資格取得に必要な資金の援助
	まなびサポート	進学した際の入学金や授業料等の援助
	入学金つなぎサポート	他の奨学金が支払われるまでの入学金等の仮払い
	伴走者支援	子どもたちに寄り添う伴走者の経費補助
	緊急サポート SOS	通常のメニューとは別枠で、できるだけ早いスピードで対応するもの
	寄り添い型支援	伴走者が、若者のために自由に使える費用の補助

お金以外でおうえん

就職支援	就職体験や就職の紹介など
居住支援	低価格・保証人不要住宅の紹介

おうえんした若者の声

小さい頃から物作りが好きでした。会社の求人を見て、**ガス切断や溶接**に興味を持ちました。資格を取得し職場で信頼されるよう努力していきたいです。職場で活躍すること・趣味に没頭し、仕事への意欲を高めることを大切に頑張りたいです。 K.R さん

保健室の先生になりたいと思っています。不登校になった時、一番支えてくれたのが保健室の先生でした。「この先生のように、苦しんでいる子どもの味方でありたい、支えになりたい」と思うようになりました。 I.M さん



こども・若者未来基金の紹介動画はこちらからご覧になれます。→



申込書ご利用の方は、点線で切り取って、配達時に提出してください。

こども・若者未来基金寄付申込書

組合員氏名

組合員番号

寄付口数 1 口 1,000 円

口

申込書による締め切り 9 月 11 日(金)

*こちらで申込まれた寄付は 10 月分の請求と一緒に引き落としされます。

事務局記入 センター /

本部 福祉事業部 宛

注文書からも申込みます！

9 月 2 回・3 回の

注文用紙に以下の番号

141852

と口数を書いてください。

*上記の 2 回のみでの取り組みですので、それ以外の注文用紙に書かれた場合は無効になってしまいます。

くらぶ

